

このページは、小・中学生に向けて梅光学院大学子ども学部子ども未来学科(地域共生ゼミ)の学生が作っています。

※イラスト 松山北斗さん



しものせき キッズページ



美術館未公認ゆるキャラ

Shimobin(しもびん)

ShiMoBiに行ってみよう!!

ShiMoBi... 下関市立美術館



2月号の編集記者(左から)平山智絵さん、森香さん、菜原梨沙さん

市役所本庁舎新館の1階に美術品の展示ケースがあることを知っていますか? 今回は、展示ケースの展示品の入れ替えを取材したよ。昨年4月から、市立美術館の所蔵品を展示しているこのケースは、ポーター・ス・下関の収益金で作られたんだよ。おおよそ月に1回作品を入れ替えていて、今回で8回目の展示なんだよ。作品は、季節や市立美術館の展覧会に合わせて選ばれているんだ。

※今回、展示された作品は池上秀敏《双鶏・西兎図》2月3日(予定)まで見学できるよ。それ以降は、違う作品が展示される予定だよ!

① 展示ケースの秘密



★ケース内の壁が調湿ボードで出来ているんだよ。(ケース内の温度、湿度を一定に保つて、空気環境の変化から作品を保護しているよ)

★低反射フィルムがガラスに貼られているよ。ガラスへの映り込みが少なくなるので、ガラス越しでも作品をより鮮明に見ることが出来るよ

★照明の明るさ、色の調子、点灯場所を調節できるよ。照明にはLEDが使われているよ。(鑑賞しやすいだけだけでなく、作品にあててよい光の強さを展示品ごとにあわせるんだよ。LED照明は発熱量が少ないから、熱による作品への影響が小さいよ)

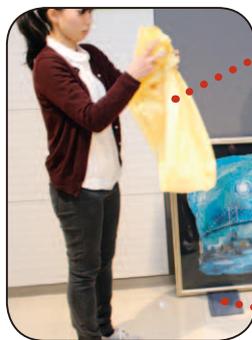
照明を調整するスイッチ



② 展示作業の注意点



★ケース内は土足厳禁だよ。(靴についた土、ほこりなどを作品と同じ空間に持ち込まないためだよ)



★黄袋や箱に作品を入れて輸送するんだよ。(黄袋は、作品の画面や額を傷めないための袋なんだ。黄色はウコンの色。染料にウコンを使うことで、防虫、防カビの役割もあるんだ)

★作品は、床に直接置かず布団の上に置くよ! (みなどの付着や額の傷付きを防ぐためだよ。作品を置くための専用の小さな布団があるんだよ)



★長い掛軸は、巻き上げという方法で展示するんだ。(巻き上げとは、掛軸の上の方を少し巻く方法だよ。本紙絵が描かれている部分の位置を高くして鑑賞しやすくするんだ)

巻き上げに使う道具。これに掛け軸を巻き付けます。